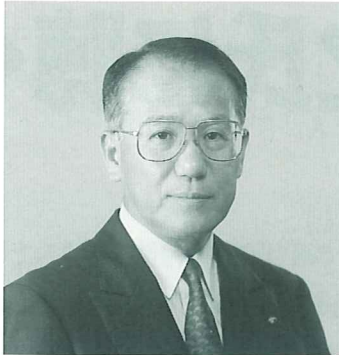


新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望も新たにすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

テクノ経営総合研究所は、今年で創立25年を迎えますが、この四半世紀にわたる活動実績は、一重に皆様方のご支援とご声援の賜物と感じております。今後も現状に甘えることなく、経営者の皆様に喜ばれる価値を生むコンサルティングに精進してゆく所存でございます。本年も何卒よろしく願い申し上げます。

テクノ経営総合研究所25年の歩み

当社は1980年に創業いたしました。日本企業の海外進出が本格化し経常収支の黒字化が進んだ80年代から、バブル崩壊による経営合理化と事業再構築の90年代、そしてグローバルとスピード化の時代である2000年代へと、企業経営における意識改革のあり方を現場に働く人の視点で見つめてまいりました。

組織には人ありき、現場改革は人の変革そのものです。強い企業体質づくりのためには、まず人づくりが必要。「人間尊重」—この創業以来の一貫した信念のもと、今後も企業変革の支援をさせていただきます。

VPMにより継続した改善活動を！

テクノ経営総合研究所の提唱するVPM（Value Producing Management）は徹底したムダ削減により、収益構造の転換をはかる活動です。VPMは現場作業に対する新しい価値観を植えつける活動でもあります。

VPM活動成功のためには、経営の確固たる決意表明が必要です。トップの熱意と強いリーダーシップがあってはじめて組織変革が達成されるのです。

時代や環境は移り変わっても現場改善の重要さ

は不変です。現状に満足することなく「知恵は無限、活動は永遠」の心がけで活動を継続することが求められます。

人・物・情報が企業改革の三本柱

今年、VPMコンサルティング・人材活用・IT（情報技術）を三本柱とした「成果重視の実践コンサルティング」を力強く進めて参ります。

未来に向けた生産現場の改革は、VPMコンサルティングによる「組織ぐるみの意識改革」、最大の経営資源である「人材（人財）の戦略活用」、IT技術による「効率化の推進」が三位一体となることにより達成されます。人・物・情報の各要素が相乗効果を発揮して、生産性の高い職場を創造します。

今後も、テクノ経営総合研究所は「付加価値を生み出すサービスの提供」と「多様化するニーズへの迅速な対応」を目標として更なる努力をして参ります。本年も皆様ごたの変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

